

スポーツの“場”を実証の舞台に 広島で企業×スポーツチームの商談が進展

初開催イベントから、実証(PoC)と導入商談が10件以上進行中／県外企業から提案多数



広島県は、県内スポーツチームが抱える「現場の課題」を起点に、全国の企業・スタートアップから解決アイデアを募り、チームとの共創を生み出すピッチイベント「ひろしまSPORTS×TECH指名会議 2025」を初めて開催しました。応募は計69件、提案企業は62社にのぼり、そのうち52社が県外企業(北は新潟、南は福岡まで)と、全国から多数の提案が集まりました。

現在、イベントを通じて生まれたマッチングを起点に、10件以上の「企業×スポーツチーム」で、実証(PoC)に向けた設計や、導入に向けた協議・商談が進行しています。スポーツを「もっと楽しく、もっと持続可能に」する取組が、広島の多様な競技・チームを舞台に、具体化・実装へ向けて動き出していますので、ぜひ広く周知をお願いします。

なお、広島県では、このような県内企業・スポーツチーム等と全国の企業・スタートアップとのオープンな共創の場を設け、本県への企業誘致に取り組んでいます。

提案数	提案企業	うち県外企業	進行中の PoC/商談
69 件	62 社	52 社	10 件以上

- 初開催の「スポーツ×TECH」共創イベントに、全国から69件・62社(県外52社)の提案がありました。
- イベント後、実証(PoC)設計や、実際の導入に向けた協議・商談が10件以上進行中。(取材可能)
- プロスポーツに限らず、女子硬式野球やブラインドサッカー等の多様な競技も含め、現場課題に対して全国から提案できる「開かれた共創」の場となりました。(参加企業のコメント有)
- イベント詳細はレポートを参照:<https://kurukuru.hiroshima.jp/archive/4508/>

1. イベント概要

名 称	ひろしまSPORTS×TECH指名会議 2025 ※広島県企業誘致イベント「Hi! HIROSHIMA Business Days 2025」メイン企画
開催日	2025年11月21日(金)
会 場	エディオンピースウイング広島
主 催	広島県／広島市／広島県企業立地推進協議会／サンフレッチェ広島／広島ドラゴンフライズ
応募数	応募計69件／提案企業62社(うち県外52社)
来 場	156名(県外からの来場57名)

参加スポーツチームと課題テーマ一覧

チーム	課題テーマ(要旨)
サンフレッチェ広島	スタジアムと公園を365日どう活かすか
広島ドラゴンフライズ	新リーグを見据えた収益モデルとファンベース拡大
広島ガスバドミントン部*	社員以外のファンをどう増やすか
はつかいちサンブレイズ	女子硬式野球としての安定的な収益と人材確保
広島 TEAM iXA	eスポーツを中四国で「当たり前」の娛樂にするには
ヴィクトワール広島	公道レース中心競技で継続的な収益モデルをどうつくるか
アーフィールドひるしまピーエフシー A-Pfeile広島BFC 日本ブラインドサッカー協会	共生社会モデルとして競技とビジネスを両立する仕組みづくり

※広島ガスバドミントン部は、イベント当日は試合のため欠席。

2. 背景:スポーツの熱量を「実装」につなげる

本イベントでは、競技力向上に限らず、集客・認知・収益・スポンサー・ファンエンゲージメントなど、スポーツチームの「事業づくり」に直結するテーマを扱い、スポーツの現場課題を起点に、AIや先端技術を活用した解決提案を全国から募りました。

広島には、「たる募金」で知られるとおり、市民がスポーツチームを支え、まち全体で応援する文化があります。こうした土壌の上に、先端技術を持つ全国の企業から優れた提案を取り入れることで、広島のスポーツを「もっと面白く」、そして「持続可能」についていく共創が生まれることを期待しています。

3. イベント後の動き:実証(PoC)設計や導入に向けた協議・商談が10件以上進行中

現在、10件以上の「企業×スポーツチーム」で、実証(PoC)設計または導入に向けた協議・商談が進行しています。記者の皆さんには、最新情報(件数、テーマ、今後の予定等)を提供することができます。

主な検討テーマ例

- デジタル技術を活用した観戦体験・ファン接点のアップデート
- AIやNFT等を活用した収益力向上・スポンサー価値の可視化

4. コメント

区分	氏名・役職(実名)	コメント
参加企業	エンドライン株式会社 代表取締役社長 山本 啓一様	全国からアイデアを呼び込み、地元の発展につなげる広島の姿勢に学ぶことが多くありました。行政が開かれた姿勢を持つことが、地域の未来をつくるのだと実感しました。
スポーツチーム	NPO法人日本ブラインドサッカー協会 専務理事 松崎 英吾様	このような場にパラスポーツも参画させていただき感謝しています。今回の出会いを通じて、スポーツ×ビジネス×社会課題解決が広がっていくと実感しています。

5. メディア取材のご案内

記事化に必要な素材・情報をご提供します。参加企業やスポーツチーム・審査員等への取材についても、ご希望に応じて調整できますので、詳しくは県内投資促進課までお問い合わせください。



参考1:ひろしま AI サンドボックス(第2期)について

本イベントでは、AI サンドボックス部門において最高得点を獲得した株式会社Pacific Metalに対し、県が推進する「ひろしま AI サンドボックス」で、最高1億円(1/2補助)の支援を受けられる権利を授与しました。ひろしま AI サンドボックス(第2期)は現在提案を募集中で、広島を舞台にした AI ソリューション開発・実証プロジェクトの応募を受け付けています。アイデアは2月2日まで募集中です。

ひろしま AI サンドボックス:<https://hiroshima-ai-sandbox.jp/>

参考2:受賞企業等のイベント登壇について

本イベントに参加し広島県知事賞等を受賞した、株式会社HYTEK、株式会社Pacific Metaと、ひろしま AI サンドボックス(第1期)で実証に取り組んでいる有限会社Directorsが登壇する本県主催イベントを、1月28日(水)に東京都内で開催します。(取材可能)

日 時:令和8年1月28日(水)19時~21時(オンライン:19時~20時)

場 所:オープンコラボレーションハブ LODGE(LINE ヤフー株式会社 紀尾井町オフィス 17階)

東京都千代田区紀尾井町 1-3 ガーデンテラス紀尾井町

主 催:広島県

共 催:LINE ヤフー株式会社、公益社団法人ふるさと回帰・移住交流推進機構

イベント情報:<https://www.hiroshima-hirobilo.jp/event/details/008433/>

問い合わせ・取材申込先

広島県 商工労働局 県内投資促進課 (担当:渡部・西本)

TEL:082-223-5151 メール:syosokushin@pref.hiroshima.lg.jp